

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあっては名称) JFEミネラル株式会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒105-0014 東京都港区芝三丁目8番2号	
本票作成	部署名：倉敷製造所管理部				
主たる業種	分類コード	21	業種名：窯業・土石製品製造業		
事業の概要	鉄鋼原料及びスラグ製品の製造販売				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	石灰工場		岡山県倉敷市水島川崎通一丁目	
	②	ミニペレ工場		岡山県倉敷市水島川崎通一丁目	
	③	水島合金鉄事業部		岡山県倉敷市水島川崎通一丁目	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kl以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input checked="" type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数 3 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

計画期間	令和 2 年度 ~ 令和 6 年度 ( 5 箇年度)								
削減目標	いずれかを選択	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	目標削減率 2.2 %	目標区分	20%以上	20~15%	15~10%	10~5%	5%未満
		<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準							
温室効果ガス排出量	基準年度 (令和 元 年度)			目標年度 (令和 6 年度)					
	654,900 t CO <sub>2</sub>			640,527 t CO <sub>2</sub>					
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		基準年度 (令和 元 年度) の排出量					
	①	石灰工場		304,035 t CO <sub>2</sub>					
	②	ミニペレ工場		3,407 t CO <sub>2</sub>					
	③	水島合金鉄事業部		347,458 t CO <sub>2</sub>					
				t CO <sub>2</sub>					
			t CO <sub>2</sub>						
			t CO <sub>2</sub>						

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容	原単位当たり排出量	
		基準年度	目標年度
		CO <sub>2</sub> / ( )	CO <sub>2</sub> / ( )

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (令和 元 年度)	達成率 (%)
指標の状況				

【目標削減率設定の基本的な考え方】

【石灰工場・ミニペレ工場】

減産による設備稼働率低下による、休転頻度上昇のため、昇温および降温機会増えるため、原単位悪化要因。ただし、その休転機会を活かしての補修（熱漏れ・空気漏れ）を行い、原単位削減に努める。

【水島合金鉄事業部】

SFフル操業及び再生油使用量増加によるCO<sub>2</sub>排出原単位改善を織り込み原単位削減率を設定した。

**【目標削減率達成のための推進体制】**

**【石灰工場・ミニペレ工場】**

月1回、環境会議・収益会議を実施し、各工場の課題進捗状況を確認。

**【水島合金鉄事業部】**

環境マネジメントシステム：平成18年認証取得

**【排出量削減のためのこれまでの主な取組】**

工場等の名称	取組内容
石灰工場 ミニペレ工場	石灰 老朽集塵機を更新し、排気ガス流量抑制による電力量削減を図った。 ミニペレ プレスフィルター増設での処理量アップ、原単位削減を計った
水島合金鉄 堅型製錬炉（SF炉）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フェロマンガ製錬炉の日常運転管理強化による省エネ</li> <li>・空調、照明運転の日常管理の強化</li> <li>・ポンプ更新時にエネルギー効率の高いポンプを採用</li> <li>・C重油代替として廃油の再利用</li> </ul>

**【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】**

工場等の名称	措置内容
石灰工場・ミニペレ工場	減産環境下での、最適稼働体制を構築、安定操業を行い、原単点を改善する。
水島合金鉄 堅型製錬炉（SF炉）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SFフル操業によるエネルギー消費原単位の削減</li> <li>・C重油代替として廃油の再利用</li> <li>・LED化による省エネ</li> </ul>

**【森林保全等吸収源対策への取組計画】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【再生可能エネルギーの導入計画】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【その他特記事項】**

項目	基準年度			今回目標			CO2原単位 目標比	CO2原単位 目標削減率	
	CO2発生量	生産量	CO2原単位	CO2発生量	CO2発生量割合	生産量			CO2発生原単位
単位	t-CO <sub>2</sub>	ton	kg-CO <sub>2</sub> /t	t-CO <sub>2</sub>	%	ton	kg-CO <sub>2</sub> /t	%	
式	-	-	A/B	-	-	-	C/F	1-(C/G)	E*H
旧ミネラル	307,442	294,767	1,043	301,252	47.0%	294,767	1,022	2.0%	0.9%
旧水産	347,458	157,338	2,208	339,275	53.0%	157,338	2,156	2.4%	1.2%
事業者 合計	654,900			640,527	100.0%				2.19%